



市民活動の 情報交換の場にもなっています

「紙ふうせん」は1995年生活クラブ生協野田支部の組合員と市民ネットワーク・のだの代理人、そして「ごみ問題を考える会」のメンバーで（全員が市民ネットワークの運営委員）立ち上げたワーカーズ・コレクティブです。

リサイクルショップの事業をしながら環境問題など地域の様々な問題を考え、解決していくために市民ネットワーク・のだの代理人を通して議会へ提案してき

ました。設立の経過から、市民ネットワークの活動に共感するメンバーも多く、市議会議員選挙の時は、事業をしながらメンバー個人の意思で選挙活動にボランティア参加しています。回を重ねるごとに、ポスター貼り、選挙カーのうぐいす嬢など何でもこなし、上手になってきたと参加したメンバーは話しています。

5年前に2号店として、「食」の事業を加えた新規事業を立ち上げ際には、市



1号店のリサイクルショップ

民ネットワーク・のだをはじめ、地域の多くの方から応援をいただき、賛同金も集まりました。多くの方の思いを紙ふうせんにのせ、これからも市民活動の情報交換の場として、地域の拠点、溜まり場の役割をしていきます。

(企)W.Co紙ふうせん 宮野洋子

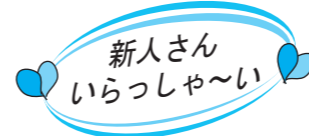
わくわく work ちば

NPOワーカーズコレクティブ千葉県連合会

No. 88
2010. 7

*ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) とは…

同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす



(企)W.Coかい 河崎孝子さん

生活クラブ生協の組合員活動で学んだことを生かして

「風車」が取材を受けました

5月12日の朝日新聞の千葉版に、「風車」の働き方が大きく掲載され、その日



二度にわたった、NHK千葉放送局の取材と撮影風景

うちにNHK千葉放送局から取材の申し込みがありました。

取材方法や考え方など記者と納得いくまで話し合い、取り直しもありましたが、「風車」の理念が伝わるいい番組に仕上がっていると思います。リユース食器のことがあまり出ていないのが残念ですが、W.Coの働き方も紹介されていたと思います。

5月20日の「首都圏ネットワーク」で「無理をしない働き方」というタイトルで放送（26日の「いっと6けん」で再放送）されると、ひきこもり、精神

障害、アスペルガー障害、LD（学習障害）などの親や本人からの問い合わせが約40件あり、お試して働き始めた人もいます。新聞と放送後の反響の大きさに、いかに「風車」のような場所が求められているかを痛感しました。

見学に来られた人から「自分達で仕事を創り出すしかないと思っていたが、どうしたらいいか皆目見当がつかなかった」と言われ、W.Co連合会の重要性を再確認しました。今後、W.Coで自分達に合った働く場を作ろうという動きが確実に広がると思います。

W.Co風車 中村早和子

菜の花のとおきレシピ recipe

鯛の落とし揚げ

材料	
鯛すり身	1kg
長ねぎ(小口切り)	200g
生姜(千切り)	150g
ごぼう(ささがき)	300g
木綿豆腐	2丁
塩	大さじ1
みそ	大さじ2
こしょう	少々
砂糖	大さじ1~2
つくねのたれ	大さじ2
片栗粉	大さじ5~7
卵	2個
揚げ油	適宜

作り方

- ①木綿豆腐は水切りしておく。
 - ②ごぼうは、さっとゆがいて、煮物風に煮ておく。
 - ③すべてを混ぜて、1個50gにまとめ、揚げる。
- *ねぎ、生姜などの風味で、鯛もおいしく、さつま揚げ風になります。



総代会の時のお弁当。右上に鯛の落とし揚げが入っています。

運営委員会報告

- ★W.Coの日 ふりかえりと今後の進め方
- ★子育て・葬儀・配送起業講座の進捗
- ★中期計画策定正会員アンケート分析結果の承認
- ★豚肉キャンペーン延期の承認
- ★テンペの新規取り組み
- ★連合会ブログの活用について
- ★連合会ホームページリニューアルについて
- ★2010年度役員選考委員会の設置
- ★協同労働の法制化経過の承認

「W.Coかい」は1984年、真砂デポーオープンとともに千葉で初めてのワーカーズ・コレクティブとしてスタートし、法人格（企業組合）を取ってから今年で20年になります。その間、「かい」では独自事業をたくさん生み出してきましたが、7事業所が独立して、現在は生活クラブ生協からの業務を請け負う3デポー、カルチャーランド、弁当・惣菜製造販売の「キャロット」のメンバーで、皆さん元気にやっています。今回、去年の6月から新しくメンバーになり事務とデポーフロア業務に頑張っている、元気いっぱい河崎孝子さんにお話を伺ってきました。

★「かい」加入のきっかけは？

もともと、生活クラブ生協の理事退任を契機に働きたいという希望がありました。昨年退任の時期を迎え、周りの友人などにも協力してもらいながら働き先を探していましたが、思うように見つからずいました。そんな時、「かい」が世代交代を視野に事務局を募集しているというW.Co連合会からの紹介があり、今まで京葉ブロックの消費委員長という立場だったこともあり、消費材に関わる仕事で収入につながるならと、軽い気持ちでお受けしました。

★入ってみてどうでしたか？

事務局の仕事だけでは希望していた収入金額に満たないので、真砂デポーのフロアでも仕事ができるように話し合い、デポーにも携わるようになりました。加入を決めた時には、一般の企業で働くこととあまり違いを感じませんでしたが、デポーフロアで、今まで消費委員会で学んできた消費材の知識を生かすことができたので、経験を生かすことの大切さを実感しています。また、チームを組んで担当を回しながらやるので、仕事のしやすさという限定的なことがなく、広く全体を見られるので楽しくやっています。事務局はいろいろと覚えることがいっぱいあって、大変ではありますが、以前の仕事が事務職だったので、こちらも楽しくやっています。

★W.Coの良さは？

年齢を超え、経験を越えて、意見交換ができることがいいと思います。経験者の話が聞けるのも有意義です。それを基にして、今どう変わった方がいいのかなど話し合えるのがいいと思います。

最初は労働対価を求めて入って、まだ希望額には足りてはいませんが、身体の調子と精神的なものを含めるとW.Coを



W.Coかいの事務所で

やっていて良かったかなと思います。

もっと若い方にも関わっていただいて、皆が楽しく思えるような職場作りができればと願っています。

★趣味は？

- 茶道と書道。
- 字が下手なのできれいに書けるように勉強したい。
- ・出身地・・・山口県
- ・血液型・・・A型
- ・生年月日・・・1962年3月14日

★W.Coに期待すること

母が高齢のため体調が悪く、遠方に住んでいるため、地域にある配食サービスを利用するようになりました。しかしシステムの使い勝手が悪く、苦慮しています。そんな母の状況を見ていて、地域に有用なサービスを気付いた人が起こすW.Coがもっと広がり、実家のある山口にもできるような、全国展開ができるとよいと思っています。

インタビュー 広報部

